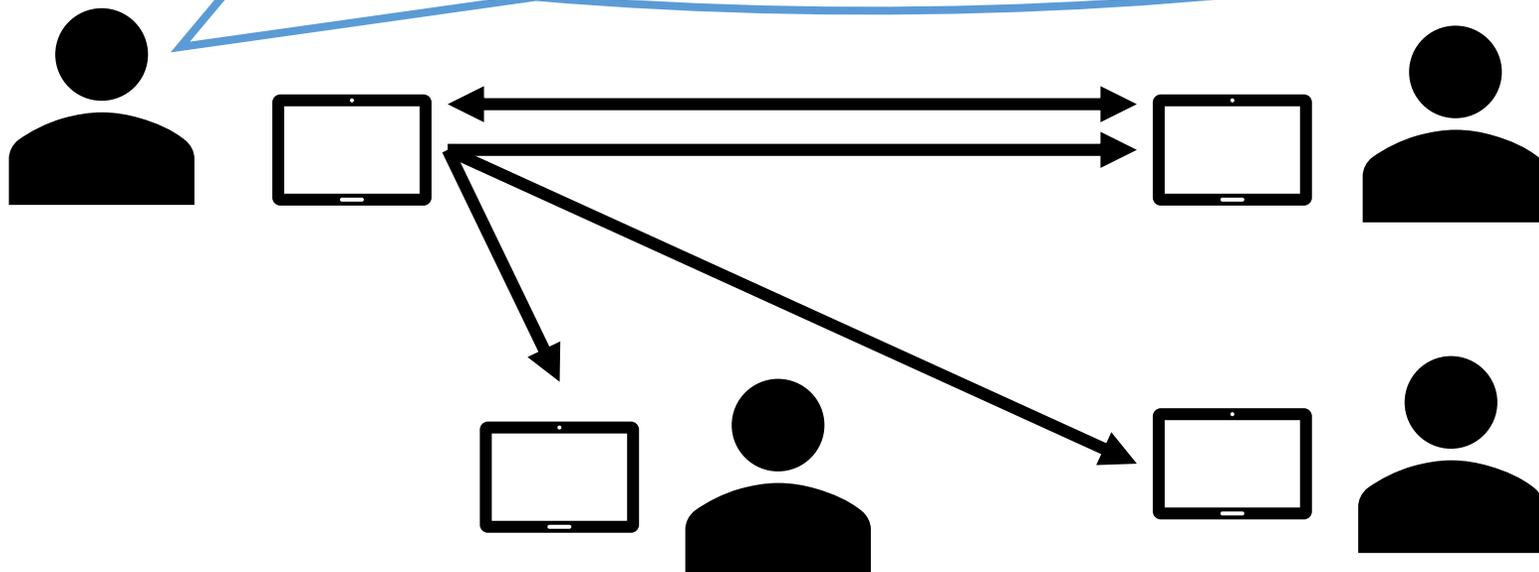


タブレット端末活用術

メッセージのやり取り操作ガイド

目的

メンバーにお知らせや活動の写真を一斉に送りたい。
メンバー間でメッセージのやり取りを行いたい。



アプリの紹介



[iMessage] (アイメッセージ)

タブレット端末に最初から入っているアプリ
Apple社のインスタントメッセージサービスでiPadやiPhone等のアップル製品でのみ利用可能



[LINE WORKS] (ラインワークス)

メンバー間でメッセージのやり取りができるアプリの一例です。
他にもいろいろなアプリがありますので、使いやすいものを探してお使いください。
次のページからこの2つのアプリの導入方法についてご案内します。

iMessageの導入について



[iMessage](アイメッセージ)

導入の流れ

- ① **iMessage設定** (利用可能な状態になっているかどうかの確認)
- ② **AirDrop設定** (連絡先を追加するための準備)
- ③ **連絡先設定・送信** (連絡先を追加する方法)
- ④ **グループiMessage送信** (メッセージの送信)

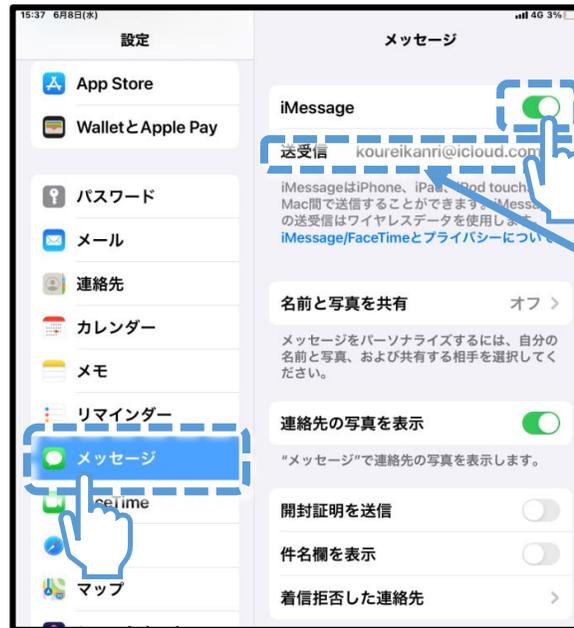
① iMessage設定

1

2



ホーム画面から設定を選択



「メッセージ」を選択

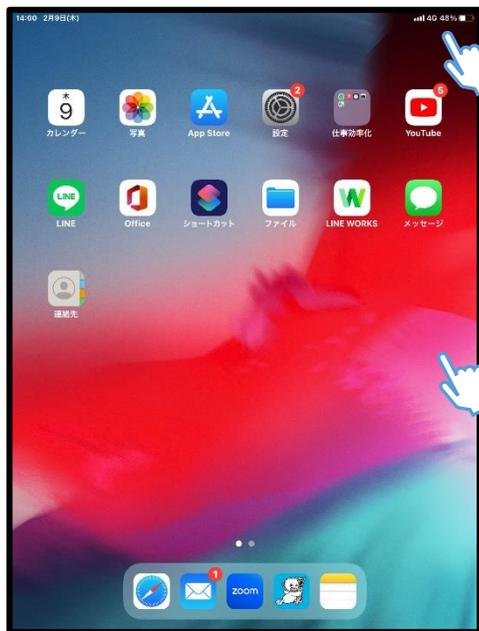
iMessageが「緑色」になっていることを確認
(なっていない場合はタッチし、「緑色」にする)

送受信の欄に、AppleIDが表示されていること
を確認

表示されていない場合、AppleID・パスワードを入力

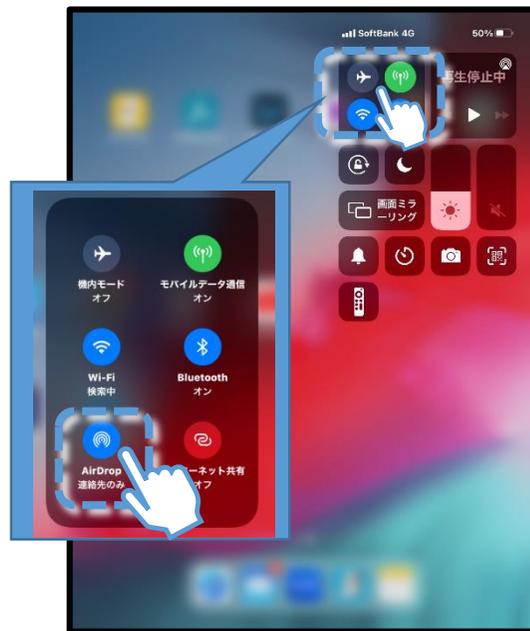
② AirDrop設定

3



タブレット端末の右上を下に
スワイプする。

4



4つのマークの真ん中あたりを
長押し、左下のAirDropのマーク
を長押しする。

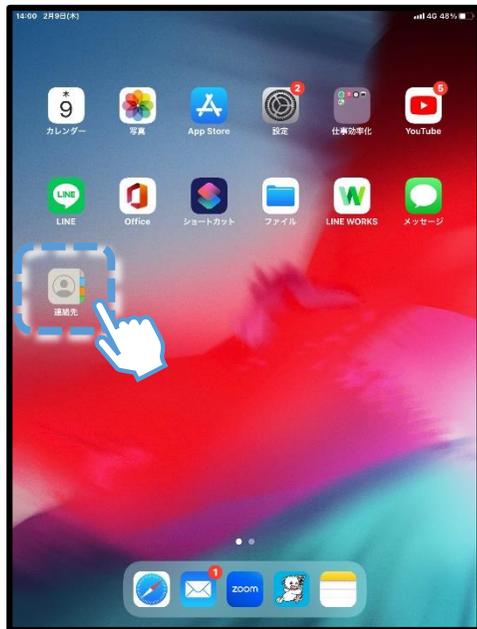
5



すべての人をタップし、
チェックマークが入るのを確認する。
受信する側も、AirDropを「すべて
の人」に設定する。

③連絡先設定・送信

6



ホーム画面から連絡先をタップ。

7



タブレットのAppleIDが表示されていることを確認し、「連絡先を送信」をタップ。

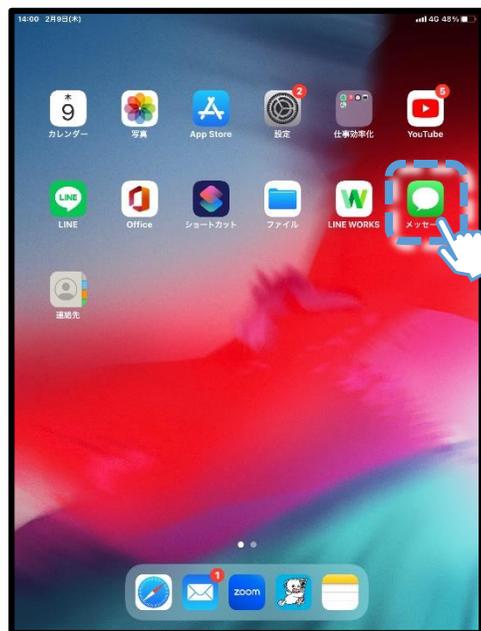
8



AirDropをタップし、他の人のタブレット端末に連絡先を送信する。
※送信後はAirDropを「受信しない」にする。

④ グループ iMessage 送信

9



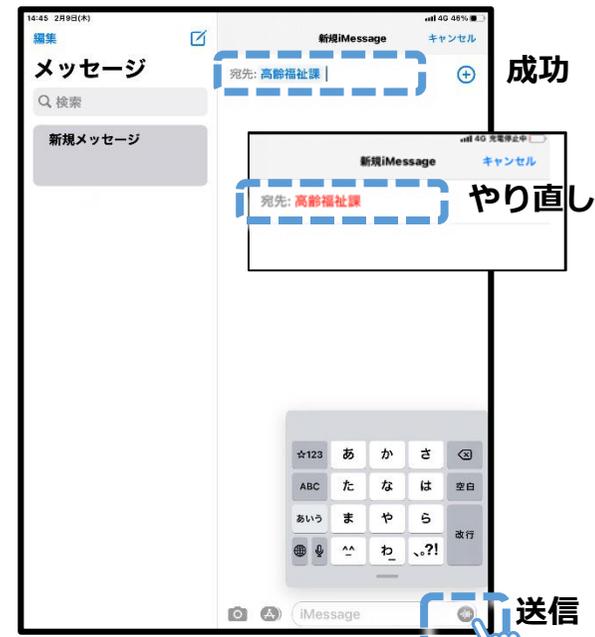
ホーム画面からメッセージをタップ。

10



左側の右上にあるペンマークをタップ。
右側に新規メッセージが表示されるので、
プラス⊕マークをタップ。

11



グループメンバーの連絡先を入力
宛先が青色なら成功だが、赤色だとやり直し
(相手が連絡先を受け取っていない) ため、⑥から再度行う。
メッセージを作成し、送信する。

LINE WORKSの導入について



[LINE WORKS](ラインワークス)

導入の流れ

- ① アプリのダウンロード（別の説明資料を参照）
- ② アプリ起動
- ③ LINE WORKSの初期設定ガイドを参照する。
- ④ ガイドを参考に新規登録を行う。

ガイドに分かりやすい説明や動画が掲載されていますので、そちらを参考にしてください。

LINE WORKSとは…

LINE WORKSとは、LINEの使い勝手を踏襲したビジネス向けのコミュニケーションツールです。

LINEと同じ感覚で使えるため、普段使っているLINEと同じ感覚で仕事上のコミュニケーションを行うことができ、使用方法を習得する手間が大幅に削減されることが期待できます。

LINEとの違いとは？

- ・ **セキュリティが厳格**

データは国内のセンターで管理されているほか、暗号化通信やエンジニアによるモニタリングも常時行われており、強固なセキュリティを実現しています。

- ・ **アドレス帳機能**

組織やチームごとに連絡帳を共有できます。

- ・ **カレンダー機能**

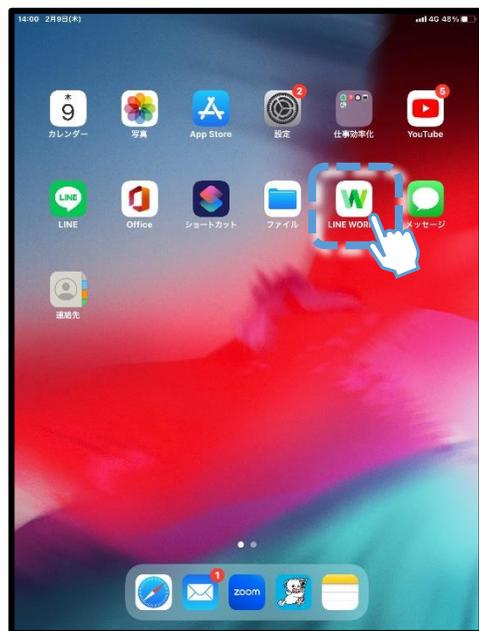
メンバー間で共有できるカレンダーが用意されています。

LINE WORKS 導入の流れ

1

2

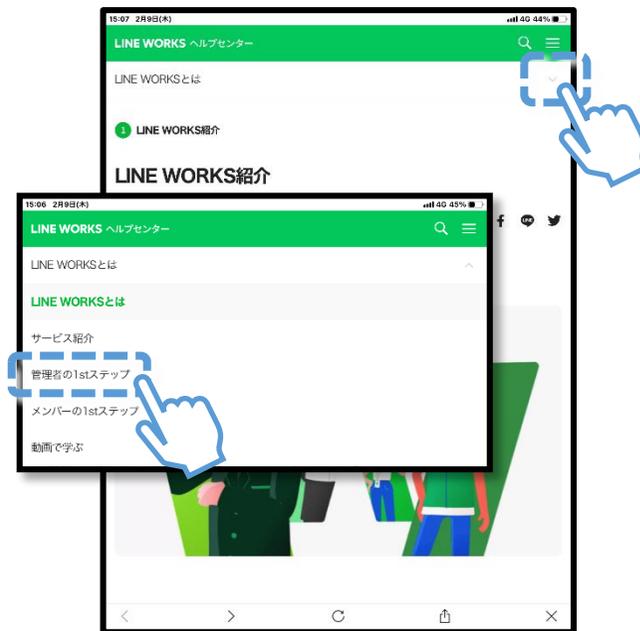
3



アプリをダウンロード後、
起動する。



「ガイドはこちら」をタップ。
ガイドを見ずに、新しくアカウント
を作る場合は「新規にはじめる」を
タップ。



「LINEWORKSとは」の右側の
「v」をタップすると、メニューが開
くので、「管理者の1stステップ」を
タップし、内容を確認する。